

まとめノート2の例

平安時代

平城京では仏教勢力が政治に口出しして
政治が乱れたので政治を立て直すため

794 平安京に都を移す

桓武天皇が政治の立て直し

(国司の監督強化、農民の労役減
征夷大將軍 坂上田村麻呂派遣など)

奈良時代の墾田永年私財法
により私有地が増える

荘園

政治の実権を貴族が握る

天皇の外戚となり摂関政治藤原道長、頼通

貴族は地方を国司任せで地方が乱れる

自分の領地を武力で守るため

武士がでてくる (源氏・平氏)

政治を天皇側に戻すため
白河上皇が院政をおこなう

保元の乱

(政治の実権をめぐり天皇上皇貴族が争う)

武士が活躍

平治の乱

(武士の間で権力争い)

平清盛が勝ち、太政大臣になり実権をにぎる (日宋貿易などを行った)

天皇の外戚になるなど貴族的な政治をおこない一族を高い地位につけるなどした。

貴族・寺社・武士みんなから不満

源頼朝が挙兵し、平氏を滅ぼす (1185 壇ノ浦の戦い)

鎌倉幕府を開く (1192 征夷大將軍)